

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 児童発達支援センター 輝なっせ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1	・医療的ケア児の利用がないため連絡体制を整えていない。 協力医療機関はある。	嘱託医契約を行っており、協力体制は取れている。外部訪問看護とも契約をしており、連絡体制も取れるようにしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	・感染症対策もあり幼稚園との交流の機会はないが小学校以上の方のワークキャンプ等での交流はある	インクルージョンの推進により、交流機会の提供を検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		・ペアトレの研修にも一緒に参加し学びを深めている	令和6年度よりセンターでのペアトレを実施予定
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	・保護者会はないが、毎日親子療育を行っており、保護者同士の繋がりがりになっている。感染症対策をしながらでパパママ会の開催を予定している。 ・コロナ禍だったので現在はまだ休止している。	新型コロナの影響にて実施していない。コロナ禍前には実施していたので、令和6年度は実施するよう計画
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・毎月のお便りを発行し、療育の様子や大切な支援の根拠等発信している。	毎月にお便りを発行している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	・感染対策を継続しており集まり的な行事は行っていない。	感染対策を重視しており、実施していないが地域に中に開かれた事業所を目指すため前向きに検討する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアル策定は継続して行っている。安全計画も今年度策定している。	マニュアルは策定していたが保護者への周知等が不十分だったため閲覧コーナーを設置予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			訓練は行っていたが、保護者への周知等が不十分だったため、紙面等で実施の様子など周知予定。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・食事提供行っていないが事前に聞き取りをし対応している	アセスメント等で聞き取りを実施
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		身体拘束についての指針の策定や当事業所の考え方を契約時にご説明し、同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 児童発達支援センター 輝なっせ

保護者等数(児童数) 47

回収数 38

割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	36	2			・走り回ったりもできるのいいと思います。 ・活動スペースは十分ある	・クラスの人数や子どもに合わせ部屋の調整を行い活動を行っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	33	2		3	・わからない事など教えてもらえるので助かります。 ・クラスの人数が増えたので分けてもらえて、一人ひとりかかる時間がもてた。ただ、親子療育に参加ができない週が週一回の利用になってしまう。 ・活動内容によって部屋を使い分けているので良いと思う。	・契約者数も増えてきており、一クラスの人数を調整し職員の配置上必要な人数で実施している。 ・事業所内研修を行い専門性を高める機会を設け支援にあたっている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	34	3		1	・自由に入りにくいように鍵を細目に閉められているところは安心です。 ・目で見てやる事が分かるので、本人もスムーズに取り組んでいる。 ・先生方はそれぞれの担当の子を中心に他の子にも気を配り、施設の雰囲気も良いと思うしエレベーターもある。	・安全面に考慮し、鍵の施錠や自動ドアの開け閉め等危険が無いよう対応を行っている。 ・構造化の部屋を設定し活動に取り組みやすい環境調整を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	38				・年々自由時間で遊ぶものを変えてあったり過ごし方にも工夫がされていると思います。 ・きれいにされていると思う	・子どもの年齢、個性に合わせて玩具や遊びの内容を提供し取り組んでいる。 ・毎日療育後は掃除、消毒を行い快適に過ごせる空間をつくっている。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	37			1	・それぞれの活動、変わっていく子供のことをよく見てくれている	・保護者からのニーズをもとに聞き取りを行い、職員間で分析をし子どもに合う支援計画を作成している
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	33	1		4	・具体的な目標を立ててそれに向けて色々と提案、支援してくれていると感じる	・保護者からのニーズをもとに聞き取りを行い、職員間で分析をし子どもに必要な支援内容の設定を行っている
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	36	1		1	・一つに縛られず子供に合った対応が何かを考えてくれている	・児童発達支援計画に沿った支援内容で日々の支援に取り組んでいる
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	33	3		2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	20	5	1	12		
適切な支援の提	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	35	2		1	・先生方は丁寧に説明してくれるのでわからないことも聞きやすく、親身になってくれる助かる。	・契約の際に文面と口頭で説明を行い納得を得たうえでやっている。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	36	1		1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	31	3		4	・アットホームなので、どの先生も話やすく子供の事も相談しやすい具体的な助言をしてくれるので実践しやすい。	・保護者向けのペアレントトレーニングを年6回連続講座で取り入れている。案内文の提示を行い参加者を募り行っている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	36	1	1		・私ができていない。 ・親子療育の時や、連絡ノートに毎回の様子やアドバイスを書いていただき、安心出来ています。	・親子療育の際に直接様子の共有を行い日々の成長を感じることができている。 ・連絡帳を通して情報共有の場を設けていますが、親子療育へ参加が難しい保護者へのアプローチとして親子で参加ができる日を提案し案内を行っています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	37	1			・親子療育の際に、その都度アドバイス等を頂ける	・半年に一回のモニタリング等を含め直接助言を行うことができている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	8	9	4	17	・療育に行き始めたばかりで分かりません。	・現在、保護者会等新型コロナウイルスの影響で実施が出来ていない。 ・クラス内で保護者同士が関われる時間を設け互いの共有の場を設け連携を図る時間を今後も継続していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	29		2		7 ・相談の申入れをすると、すぐ対応してくださり親身になって聞いてもらい対応も考えてくれました。	・子どもや保護者からの相談にはその都度応えられる様に調整を行い取り組んでいる。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	35		3			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	29		4		5 ・連絡帳ではいつも細かく色々書いてもらえるのがいいです。	・日々の様子を連絡帳やメールで保護者へ共有できるよう努めている。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	36			2		
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	14		5	2	17 ・行き始めたばかりで分からない	・緊急時の訓練を実施しているが、保護者への周知が足りていない為お便り等でお知らせしその都度報告を行う。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10		4	1	23 ・行き始めたばかりで分からない	・定期的に訓練の実施を行っている。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	31		6		1 ・行きたくない！！といつも言うけど楽しかった！と教えてくれます。 ・行く直前まで「イヤ」と言っているが行くを楽しんでいる。 ・満足しています。 ・最初はなかなかなじめなかったけど、先生方のおかげで楽しく通っています。 ・毎週楽しみにしています。とても居心地が良いようです。	・行きたくない！と言われる子どもさんも多い為楽しく参加できる様な支援内容を考え取り入れていく。
	23	事業所の支援に満足している	36		1		1 ・少しずつ成長が見られ療育のおかげだなと思います。 ・これからもよろしくお願ひします。 ・いつもありがとうございます。親子共々助かっています。	・今後も満足してもらえるよう丁寧な支援を行います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。